

デュプリケーターFAQ

光ディスクデュプリケーター（BD/DVD/CD）

■デュプリケーターで使用するマスターディスクの注意点

デュプリケーターで複製を行うマスターディスクは、以下の条件に該当すると複製が正常に行えない場合があります。

作業前にご確認下さい。

1. ファイナライズ処理が行われていない。
2. コピー先（ターゲットのブランクディスク）とは異なる種類のディスクを使用している。
3. 記録面に傷や指紋が付いている。
4. 記録面の色素が劣化している。（経時劣化や環境による影響による）

【1.の場合】

ディスクのファイナライズ処理を行っていただくか、ディスクの再作成を行ってください。ファイナライズについては「ディスクを閉じる」「クローズ」など、ソフトウェアによって別の表記が行われている場合があります。ファイナライズ処理とは、ディスクをそれ以上追記しないよう、完成させる処理を指します。この処理を行う事で、ディスクに記録できる容量が残っていたとしても空き領域が無くなります。その代わり、ディスクを読み込むための全ての情報が記録され、ディスク読込の互換性が上がり、環境を問わず正常にデータの読込が行えるようになります。反対に、ファイナライズ処理が行われていないまま（「オープン」と呼ばれることもあります）のディスクは、環境によっては記録されているはずのデータが読み込めない事があります。デュプリケーターにおいても、正常に複製が行えなくなる原因となります。ファイナライズ処理が済んでいるのかを確認するには、「ディスクのプロパティ」を見て【空き領域】が存在するかを確認する方法があります。ファイナライズ処理が行われている場合は、空き領域が0となっています。空き領域が0以外になっているのであれば、ファイナライズ処理を行う必要があります

【2.の場合】

ディスクの種類が異なる場合、内部の記録方式や品質、倍速にバラツキが発生し、正常に複製が行えない場合があります。DVD-RとDVD+Rを混在させないことなどはもちろん、メーカーやブランドの混在も正常な記録を行えない原因となります。可能な限り、デュプリケーターで利用する全てのディスクは統一した種類のものをお使い下さい。

【3.の場合】

ディスクの記録面に傷や、指紋などの汚れが付着している場合、読み込み不良となり複製が失敗する可能性が高まります。なるべく記録面の状態が良いディスクをマスターとしてご利用下さい。また、長期間に渡り繰り返し複製するマスターについても、なるべく早く新しいディスクへとマスターを置き換えて下さい。

【4.の場合】

記録面は時間が経ちますと劣化し、読込が不良となりやすくなります。一般的なDVD-Rなどの記録メディアは、データを記録するためにドライブが発するレーザーの熱に反応して状態を変化させて記録する「有機色素」を利用しており、レーザー以外でも太陽光による赤外線や、湿気などの要因で状態が変化してしまい、記録が破壊されていきます。3.の場合と同じく、なるべく早くマスターを置き換えていくことをお勧めいたします。

■Blu-rayディスクの書込みが正常に行われない場合の対処方法

この項目は、以下の問題点がある場合に該当する可能性が高くなります

マスターの容量がそれほど多く無いのに、コピーに多くの時間が掛かる。

マスターの容量がBDディスクの最大容量で表示される。

コピーがすぐに終了して、読込が出来ないディスクになってしまう。

一部のチャプターやメニュー が再生できない。

マスターの容量がほんのわずかしが表示されない。

ディスクがファイナライズ処理されていない。

▶説明

1.と2.については、同じ問題に起因している可能性が高くなります。

まずはマスターをパソコンのプロパティなどで容量のチェックをし、実際の容量を超え、BDディスクの容量フルが使用されているように認識されているかどうかを確認して下さい。この場合にはデュプリケーター上でもフルに容量が使われていると認識されるため、フルに書込みを実施し、時間が掛かります。これは、マスターの書込みを行ったBDレコーダー（デッキ）や、オーサリングソフトの特性で、実際の容量は小さくても、表向きには全ての容量を使用しているようにして、再生互換性を高めるなどの目的で処理しているものと考えられます。この状態のままではデュプリケーター側でも実際のデータの有無に関わらず、認識されている全ての領域をコピーするため、フル容量のマスターをコピーした時と同じだけの時間が掛かります。

▶要因

オーサリングソフトやレコーダーの特性により、リードアウト位置がディスク末端（最大容量位置）に作成されている。

トラックが複数に分かれている。